



日野療護園
フォーシーズンズ

東京都
社会福祉
事業団



Four Seasons

No.87

2020年3月2日 冬号

発行／編集：日野療護園 〒191-0034 日野市落川245-1 Tel 042-593-2421 Fax 042-593-0075 E mail hinoryo@hinoryo.org HP http://www.hinoryo.org

しんしゅん

新春『カラオケ』イベント

1月14日（火）新春イベントとしてカラオケ大会を
共通棟ホールで開催いたしました。

当日は、多くのご利用者様に参加いただき、時には涙、時には笑いに包まれる心温まるカラオケ大会となりました。

「栄光の架橋」、「サウスポー」、「青い珊瑚礁」、「TRUE LOVE」等々…、ご利用者様それぞれの思い出の曲を歌っていただきました。

カラオケを熱唱されるご利用者様を温かく見守り、応援する会場全体の雰囲気がとても良く、開催して良かったと心から思える一時でした。

当日ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。（記：菊地）



今年も日野療護園をどうぞ宜しくお願い致します。

秋の日野療寄席イベント



11月27日（水）、「秋の日野療寄席イベント」を開催いたしました。

当日朝は小雨でしたが、早くから会場は満員の大入り、出囃子が流れる良い雰囲気の中、落語家の登壇を待ちました。当日、出演して下さったのは「日野市らく笑会」所属の皆さんで、一枚目は栄家大福さん「親の顔」、二枚目に桜家岳輔さん「鶴、南京玉すだれ」、そして三枚目は難乃家桃太さん「時そば」が上演されました。

さすがは愛好会の皆さんの落語後はとてもお上手で、会場は大いに盛り上がりました。とても楽しかったと次回を望む声も多く聞かれました。秋の終わり、イベントが終わるころには雨も上がり、終わりよければすべてよし。おあとがよろしいようで…。（記：近藤）

せつぶん 節分イベント

「**せつぶん**」は毎年2月3日に行われる行事ですが、これは春の始まり「**立春**」の前日となっています。園でも**まめまき**イベントを行いました。鬼のイラストをペットボトルに貼りミニタオルで作ったボールを豆に見立て鬼を倒すゲームイベントです。

たくさんのご利用者様の参加で大いに盛り上がりしました。鬼のお面をかぶる職員は、新人職員が務めるのが園の伝統になっています。鬼を退治し、園に福を呼び込みました。（記 萩原み）



けんしゅう アンガーマネジメント 研修

2月14日、東京都七生福祉園の成人支援部門長西澤様を講師としてお迎えし、アンガーマネジメント研修を実施しました。

内容は、ある場面を設定して、その時どうすれば良かったかをグループ討議を行いました。グループ討議では、年齢が若いチームは「こうあるべきだ」といった意見が多く、一方で、年齢が高いチームは「柔軟な発想をしよう」といった意見が多く出されていました。人生経験が反映した傾向だったのでないかと感じました。

日々の支援の中で、いざ自分がイライラした時や興奮した時には、この研修で学んだことを思い出し、冷静な判断が出来るようにしたいと思いました。（記：菊地）

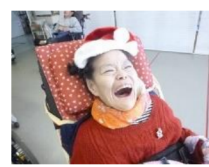


ボランティア感謝祭&クリスマス会

12月24日(火)にクリスマス会・ボランティア感謝祭を開催いたしました。クリスマス会では、二人のサンタさんより、ご利用者様へタオルをプレゼントしていただき、皆さん喜ばれていました。また、以前にも来園していただいたボランティアのサクラアンセムさんからも、最近の歌や讃美歌など素晴らしい歌を披露(プレゼント)してもらいました。一緒に口ずさんでいるご利用者様もいて、とても楽しまれていました。

その後、ボランティアさんへの感謝を込めて、園長より感謝状と花束をお渡しました。一年間ボランティアに来ていただいた方や今年度でボランティアを終えられる予定の方にもご利用者様から労いや感謝を伝える声が聞かれました。

(事業推進 田中直)



「看取りケア」研修

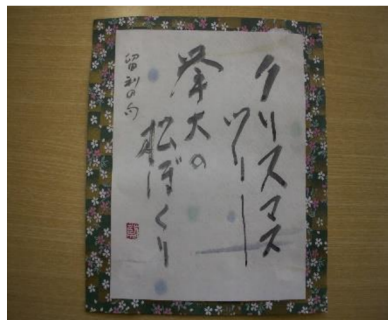
2月4日(火)に「看取りケア」研修を開催いたしました。

人は例外なく必ず死を迎える。そして(生きている時間が限られていることが前提とされたときに)ご利用者様本人が、「より良く(その方らしく)」生きていくことができるのかについて、関わっている人たちが皆で考えていくことが大切であることを「看取りケア」研修で学ぶことができました。

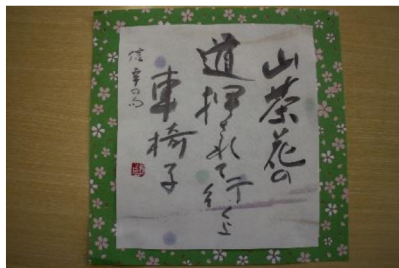
また、今回の「看取りケア」研修では、事前に全職員による、園での看取りケア(支援)事例についての振り返りアンケート(シート)の作成をして貰い、研修講師とともに事例の振り返りディスカッションも行いました。

研修講義とディスカッションを通じて、私たち職員が、日々のご利用者様の支援において、ご利用者様にとって「最善の支援(ケア)」を目指していく姿勢と実践を積み上げていくことが、人生のラストステージ(看取りケア)に繋がっていくことに気づかされました。(記 山中)





クリスマスツリー
拳大の
松ぼっくり
留利の句



山茶花の
道押されて行くよ
車椅子
信幸の句

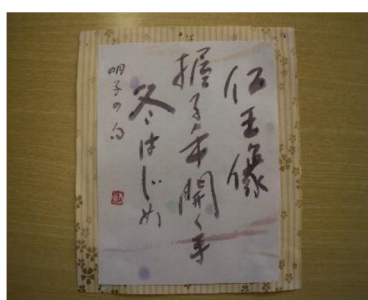


クリスマス
聖歌清らに
天上へ
歩美の句

俳句 (木の実の会)



同級生
だらうか
極月の紙面
八枝子の句



仁王像
握る手開く手
冬はじめ
明子の句



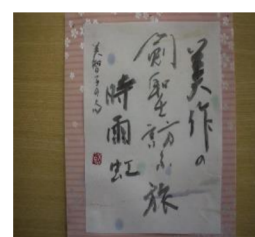
牧牛の
背な黒々と
冬に入る
洋子の句



きらきらと
さくらもみちの
裏表
博吉の句



水涸れて
水車重たき
城址公園
紀美の句



美作の
剣聖訪う旅
時雨虹
美智子の句

へん
編

しゅう
集

こう
後

き
記

インフルエンザ流行のピークは越えましたが、新型コロナウイルスの国内感染の発生、そして感染拡大など…、引き続き、感染予防の徹底が求められています。手洗い、うがい、マスク着用など、出来る予防対策を確実に！皆さまが健康で穏やかな春を迎えることができるよう願っています。